

横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨	
日 時	令和3年4月26日(月) 17時30分～18時00分
開催場所	市庁舎10階 本部会議室
出席者	<p>【正副本部長】 市長、平原副市長、小林副市長、城副市長、林副市長、高坂危機管理監</p> <p>【局・統括本部】 温暖化対策統括本部長、デジタル統括本部長、政策局長、総務局長、財政局長、国際局長、市民局長、文化観光局長、経済局長、子ども青少年局長、健康福祉局長、医療局長、医療局病院経営本部長、環境創造局長、資源循環局長、建築局長、都市整備局長、道路局長、港湾局長、消防局長、会計室長、水道局長、交通局長(代理：交通局副局長)、教育長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長、監査事務局長、議会局長(代理：議会局副局長)</p> <p>【区】鶴見区長、南区長、泉区長</p> <p>【その他】危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p>
開催形態	マスク公開
議 事	<p>開 会</p> <p>1 市内の状況について</p> <p>(1) 感染発生状況<健康福祉局> 資料1に沿って説明【健康福祉局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(P.4) 4月に入ってから次第に新規陽性患者数が増えており、4月22日(木)以降、1週間単位で600人を超える状況が続いている。 ・(P.10) 新型コロナウイルス感染症用病床と宿泊療養施設(横浜伊勢佐木町ワシントンホテル)の使用率は増えてきている。 <p>(2) 医療提供体制の状況<医療局> 資料2に沿って説明【医療局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(P.14) 重症者数の病床使用数は10床、そのうち人工呼吸器使用数は6台、ECMO使用数は0台であり、少しずつ増加している。 ・(P.15) 陽性・発熱等疑似症患者用病床の使用数は、4月25日(日)時点で273床(陽性患者：137床、発熱等疑似症患者：136床)となり、少しずつ増加している。 <p>(3) 市内経済の状況<経済局> 資料3に沿って説明【経済局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(P.20) 神奈川県「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」(第9弾)では、売上高に応じて傾斜をつけた配分とされ、事務手続きのさらなる煩雑化が予想されることから、協力金支給のより一層の遅れが懸念される。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力金支給の遅れについて、林副市長に本市としての対応を伺いたい。 <p>【林副市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力金支給の遅れが明らかになってきており、まん延防止等重点措置も適用され、不安感が高まっている。協力金の速やかな交付を引き続き要請するとともに、経済局としてどのような支援ができるかについて検討する必要がある。 <p>(4) 市内観光の状況<文化観光局> 資料4に沿って説明【文化観光局長】</p>

	<p>(5) ワクチン接種の状況<健康福祉局> 資料5に沿って説明【健康福祉局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(P.26) 80歳以上を対象とした個別通知発送に伴い、コールセンターに多くの問い合わせを受けており、電話が繋がりにくい状況が発生していた時間帯もあった(4月24日(土)、25日(日)の入電数は、それぞれ約19,000件)。 ・(P.26) 問い合わせの内容は主に予約方法に関することであった。その他、接種期間やワクチン接種等に関する問い合わせを受けている。 <p>2 県実施方針等の概要<本部運営調整チーム> 資料6に沿って説明【危機管理室長】</p> <p>3 本市の対応<本部運営調整チーム> 資料7に沿って説明【危機管理室長】</p> <p>4 本部長指示 別紙のとおり</p> <p>5 その他</p> <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種の個別通知発送に伴う区の対応について、区長に伺いたい。 <p>【鶴見区長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区役所ではワクチンの相談コーナーを設け、相談員を2名配置している。鶴見区役所では、本日朝から昼過ぎまでに約50名の方が相談コーナーにお越しになった。 ・相談の内容は、主に予約方法や接種会場等に関するものであった。これを受け、接種予約に関するポスター掲示をはじめ、あらゆる媒体を活用し周知していく。 <p>【南区長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区役所のワクチン相談コーナーには、本日朝から来庁者がコンスタントにお越しになった。来庁者がお待ちいただくための椅子を増やして対応する程度の混み具合であった。 ・相談の内容は、予約開始日時や接種会場、予約方法などの基本的なものが多かった。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知だけだとご理解いただけないこともあるかと思うが、窓口で直接丁寧にご対応いただきありがたく思う。引き続きお願いしたい。 <p>閉 会</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資 料</p> <p>《市内の状況について》</p> <p>資料1 感染発生状況【健康福祉局】</p> <p>資料2 医療提供体制の状況【医療局】</p> <p>資料3 市内経済の状況【経済局】</p> <p>資料4 市内観光の状況【文化観光局】</p> <p>資料5 ワクチン接種の状況【健康福祉局】</p> <p>《県実施方針等の概要》</p> <p>資料6 県実施方針等の概要【本部運営調整チーム】</p> <p>《本市の対応》</p> <p>資料7 本市の対応【本部運営調整チーム】</p> <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>

横浜市が「まん延防止等重点措置」の措置区域に指定されて、一週間が経ちました。

このたび、神奈川県は、「神奈川県実施方針」を改訂し、明後日28日から来月11日までの間、措置区域の拡大と、酒類提供の終日停止の要請を決定しました。

3度目の緊急事態宣言が発出された東京都からの人流を抑えるためには、酒類提供の終日停止は、残念ながら、やむを得ない対応だと考えます。

飲食店の皆様は、長引く時短営業の影響で、すでに大変厳しい状況にいらっしゃいます。酒類提供の終日停止の要請にあたり、先日、私から黒岩知事に対して、一刻も早い協力金の交付と、それに加えたさらなる支援措置を、強くお願いいたしました。これからも強く要請を重ねてまいりたいと思います。

横浜市は今後も、飲食店をはじめとする事業者の皆様をしっかりとお支えし、一緒にこの困難を何としても乗り越えてまいります。

このたびの「神奈川県実施方針」の改訂に伴い、横浜市は、すでに実施している対応に加え、次のとおり、対応していきます。

- 市民利用施設と市主催・共催のイベントにおいて、4月28日から酒類の提供を終日停止し、混雑が生じないように、入場整理を徹底します。
- 大型連休中、感染症コールセンターにおいて、24時間対応でご相談を受け付けます。
- コロナ禍で生活にお困りの方からの相談を受け付けるため、5月1日から5日、午前10時から午後2時まで、臨時の相談窓口を開設します。寿福祉プラザ相談室と神奈川公会堂の2か所の相談窓口のほか、お電話やEメールでもご相談を承ります。
- 横浜市職員の全庁的な応援体制を組み、ワクチンの集団接種会場での対応をしっかりと行います。また、区福祉保健センターの業務量の増に柔軟に対応できるように、今後の感染状況に合わせ、職員応援を迅速に実施できる仕組みを、新たに整えます。

横浜市内の直近1週間の新規陽性患者数は638人で、前の週の1.3倍となっており、増加傾向が顕著となっています。変異株による感染者の割合も、県内で増加しています。

大型連休を迎えるにあたり、横浜市は医療提供体制や相談受付体制を整備し、市民の皆様をしっかりとお支えし、さらなる感染拡大に備えていきます。

横浜市は、コロナ患者さんのための病床として、第3波ピーク時の入院患者数の約2倍となる554床を確保しています。

さらに、感染を疑う患者さんの病床として198床、症状が軽快した患者さんを受け入れる病床として173床、合計で64病院、925床を確保し、通常医療と感染症医療をしっかりと両立できる体制を整えています。

大型連休中も、医療機関の皆様にご協力いただき、休日急患診療所や夜間急病センターでの診療体制を整えていますので、ご安心いただきたいと思います。

また、今後の感染状況によっては、医師が常駐する「Y-CERT特別対策チーム」を

編成し、患者さんの入院・転院や搬送の調整を円滑に進めていきます。

4月12日から開始した、高齢者施設でのワクチン接種は、4月22日現在、29施設で約3,900人の方への接種を行いました。

5月は400～500施設で接種を進めていきます。各区の公会堂やスポーツセンターなど19の会場で行う集団接種は、5月17日に青葉スポーツセンターで接種を開始し、19日以降、すべての会場で接種を開始します。個別接種は6月上旬以降、76の病院、1,053の診療所で開始する予定です。

先日、指定都市市長会コロナ対策本部として、私自身が河野大臣に、ワクチンの安定的な供給について要望いたしました。大臣からは、大型連休明けから供給が本格化し、国内に週に1,000万回分入ってくるとのご回答を頂戴いたしました。希望されるすべての皆様が、安心して接種していただけるよう、引き続き、市を挙げて取り組んでいきます。

各本部長に指示します。

- このたびの横浜市の方針に基づき、各区局が所管する施設やイベントでの対応を改めて整理し、利用者や関係者の皆様にしっかりと周知してください。
- 勤務時間内外を問わず、基本的な感染症対策を行い、感染リスクが高い行動は避けるよう、改めて、職員一人ひとりに周知徹底してください。
- 大型連休中も、感染状況などの変化を常に把握し、臨機応変に対応できる体制を、各区局で整えてください。

市民の皆様をお願いいたします。

- 不要不急の外出を自粛し、基本的な感染防止対策を徹底してください。
 - 県を越える移動は、生活に必要な場合のみにしてください。
 - 飲食店を利用する場合は、感染防止対策が講じられた店舗でお願いします。また、20時以降の利用は避けてください。
 - 路上での飲酒はしないでください。
- よろしくをお願いいたします。

事業者の皆様をお願いいたします。

- 飲食店は、4月28日から、酒類提供を終日、停止して下さるようお願いいたします。カラオケ設備があるお店では、設備提供を終日停止してください。
- 飲食店等以外の大規模な集客施設は、夜間の人流抑制につながるよう20時までの営業時間短縮をお願いします。また、施設内外に混雑が生じることがないように「入場整理」を徹底してください。
- 「出勤者数の7割削減」を目指し、テレワークやローテーション勤務、時差出勤、昼食時間の分散化など、通勤・在勤時の密を防ぐ取組をお願いいたします。

横浜市は今後とも、国や県、医療機関の皆様と緊密に連携し、市民の皆様の命と暮らしをしっかりと守りしていきます。

感染拡大を食い止め、私たちの日常を一刻も早く取り戻すためには、お一人おひとりの

感染症対策が欠かせません。変異株に対しても、取るべき対策は変わりありません。

私たちが進む先には、必ず光が射してきます。

皆様と一緒にこの状況を乗り越えていきたいと思います。この連休が大きな勝負と考えています。皆様と一緒に頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。